

## 第1回市立病院の今後のあり方検討会 議事録

1. 日時 平成30年8月28日（火）19時～20時30分

2. 場所 金沢市立病院 3階講堂

3. 出席者（敬称略）

委員：金子座長（金沢大学）、石野委員（石川県病院協会会長）、羽柴委員（金沢市医師会会長）、吉野委員（石川県看護協会会長）、平嶋委員（金沢市社会福祉協議会会長）、木下委員（金沢市地域包括支援センター連絡会副会長）、西野委員（金沢市町会連合会会長）、本谷委員（金沢市校下婦人会連絡協議会副会長）、細田委員（金沢市副市長）

事務局：金沢市保健局長、金沢市健康政策課長、金沢市立病院事務局長、金沢市立病院事務局次長ほか

オブザーバー：金沢市立病院院長

### 4. 主な質疑応答

E委員	市立病院が公立病院としてやらなければならない部門を除いて、通常医療の部門を診療収入と支出で見ると、収支はどういう状況なのか。
市立病院事務局長	不採算部門については、公立病院としての責務から実施している医療分野のため、収支が取れない部門であるが、不足する分額については、全額ではないが公費で補填されている。一方、それ以外の民間病院と競合する通常診療の部門でも収益をあげることが難しい状況であり、収支は赤字となっている。
E委員	一般の診療部分では黒字になるよう努力するべきである。
市立病院事務局長	不採算部門以外では、効率的な病院運営に努めて収益を確保していかなければならないのは当然だが、民間病院に比べて高い人件費がネックとなっており、公立病院の経営はどこも厳しい状況である。
E委員	人件費がさわれないとなると収益をあげていくしかない。
病院事務局長	費用面では、診療材料や医薬品などの納入業者と価格交渉を進める中で、コスト削減にも努力しているが、収支を取るためには、まずは入院患者や外来患者を増やし、医業収益を高めることと考えている。
E委員	病院の堅実な経営には、人件費の割合が4割から5割といわれているが、6割あるものを4割から5割にするため、いっそう収益を上げていくということか。
市立病院事務局長	人件費比率を下げっていくには、今以上に医業収入を増やしていかなければならないと思っている。

B委員	<p>以前、市立病院の経営改善委員をしていて、その時の記憶では、不採算部門は市から補助金などで補填されているものの、病床稼働率などから見るとしっかり機能を果たしており、不採算部門はがんばっているといった印象だった。</p>
市立病院事務局長	<p>不採算部門のすべてが補填されている訳ではないが、以前は国の特別交付税等でほぼ賄われていた。しかし、ここ最近はこの交付税が減ってきており、この交付税の減少分を市の一般会計繰入金で安易に肩代わりするといったこともなかなかできない中で、結果的には病院事業の収益で不足分の穴埋めをするといった状況になってきている。</p>
A委員	<p>毎年の人事院勧告により人件費が上がる、それに伴い診療報酬も上がればよいが、2年ごとの改定で減らされてきている。収益をあげるには患者を増やすしかないが、大病院が市内に多くある中でどういった特色を出していくのか。それによってどう集客していくか。</p> <p>優秀なスタッフがいるので、得意な部門を伸ばして紹介率を上げ、収益をあげていく。また、周囲の病院から頼りにされ、紹介を受けた患者をしっかりと診て、回転を上げていくしかないのではないか。</p> <p>市立病院はここが強いというところを示していかなければ生き残りは厳しいのではないか。</p>
F委員	<p>累積欠損金があるが、その分は借金をしているのか。</p>
市立病院事務局長	<p>企業会計のため、減価償却費や退職金引当金の計上で約27億6千万円の累積欠損金が発生しているが、それ以上の現金預金は保有している。</p>
F委員	<p>そうであれば、現時点で切羽詰まった状況ではないが、こうした状況が続くと危ないので今から何らかの対応をするという趣旨と理解した。</p> <p>また、中央医療圏において、不採算部門はそれぞれの病院の役割分担の中でやっているのか、あるいは歴史的な経緯だけでやっているのか。どこの公立病院でもやらなければならないとのことであれば、リスク管理の意味でも分散してもっているのか。</p>
市立病院事務局長	<p>不採算部門は公立病院に義務が課されているという訳ではない。本院は第2種感染症の指定を受けており、県立中央病院は第1種感染症に指定されているので、これまでの協議の中で役割分担が図られてきたものと思っている。なお、結核病床については、市立病院が結核病院から始まった経緯から今も維持しているが、これも義務ではない。ただ、中央医療圏の中では他に結核病床をもっている病院はないので、今のところ本院では維持していかなければならないと思っている。</p>

市立病院事務局長	<p>その他の不採算部門についても義務化されている訳ではないので、今後の「あり方検討会」の中で議論を深めていただきたい。</p>
F委員	<p>「地域」という言葉が出てくるが、金沢市全体を指すのか、あるいは特定のエリアを指しているのか。それによって「事業の有り様」も変わってくるのではないかと。また、可能であれば利用者の地域的な偏在のデータを出してほしい。</p>
市立病院事務局長	<p>市立病院を利用する入院患者や外来患者の地域分布は特に分析しておらず、次回の検討会までには用意したい。ただ、県立中央病院が新しくなったからといってそれほど患者数は減ってはいないので、本院は寺町台地を中心とした南部の急性期病院として、医療圏の中では住み分けができていっているものと考えている。</p>
F委員	<p>福祉的な視点からいけば在宅医療との密接な連携が必要ということになるが、これからは高齢者だけではなく障害者や子供も含めた連携が大切になってくると思っている。</p>
C委員	<p>多くの病院があるので、それぞれが役割分担して、そのことを住民がしっかり理解していることが大切である。また、市立病院としては、この地域の方が入院して、安心して退院できるようになればよい。</p>
B委員	<p>「地域」とは何なのか。中央医療圏にはどんな病院があり、どんな患者動態になっているのかが今日の資料ではわからない。ここが中心的な議論になるので次回までに資料を示してほしい。また、2025年問題については、予想される人口動態や疾病構造も出ているので、それらを踏まえた分析資料も出してほしい。</p>
H委員	<p>結核病床の補助金はなぜ削減されたのか。</p>
市立病院事務局長	<p>結核医療については、病床の維持費用が特別交付税の積算に入っており、交付税は市の一般会計に入ることから、その算定額を一般会計からの繰入金という形で病院会計が受け取ってきた。しかし、ここ数年で交付税の積算単価が減り、合わせて繰入金の額も減ってきているということである。交付税が引き下げられたのは、疾病構造が変化してきた、結核患者数が減ってきていることが理由かもしれない。</p>
H委員	<p>市立病院の立場上で、結核病床や感染症病床を持たなければいけないのであれば、その分の収支不足になるのは仕方ないのではないかと。</p>
G委員	<p>県内の他の病院に結核病床はないのか。</p>

市立病院院長	<p>小松と能登の病院にも結核病床はあるが、重症化するとすべて市立病院に来ている。</p>
G委員	<p>それでは、石川県の結核患者は、金沢市の市立病院が引き受けているということである。市立病院だからといって市外の患者を断ることはできない。しかし、採算性を高めていこうとするときには、県内全域を念頭に結核患者をどうするかを考えなければならないが、まずは市内の近隣病院との関係からも考えていく必要がある。</p> <p>不採算部門ということもあり、なぜ、市立病院だけが結核病床を維持することになったのか、その経緯や結核病床の利用状況についても、次回に示して欲しい。</p>
I委員	<p>平成26年から27年にかけて入院患者数が上がっている。この時には何らかの努力をされたと思うがどうしたのか。</p> <p>また、平成24年から外来の診療単価が上がってきている。高度な医療をしているということかと思うが、なぜ診療単価が上がったのか。</p> <p>なお、「地域」という話があったが、入院・外来患者の地域性の分析は必要であると思う。また、資料にはクリニックへの逆紹介率が上がっているとあるが、地域のクリニックに戻して終末期の医療にしっかり対応できているかは大事な部分である。</p>
市立病院院長	<p>新規の入院患者が約1,200人増えたことが要因である。しかし、ここ2～3年は新規入院患者数は横ばいであるものの「平均在院日数の短縮化」が影響しており、延べ入院患者数は減少している。</p> <p>外来の診療単価が上がったのは、3か月処方などによって患者を手当する日数が伸びたためである。しかしこのことで再診が減り、外来患者も減少している。</p> <p>なお、逆紹介では、「地域連携室」を中心に訪問看護と連携し、かかりつけ医や在宅医療を積極的に支援している。</p>
B委員	<p>市立病院が地域のかかりつけ医や施設とどれだけ連携しているのかを教えてほしい。富山市だったと思うが、保険証の住所からどこから患者が来ているのかを分析していたと思う。</p> <p>市立病院が平和町病院になっていないか、金沢市の市立病院になっているのか。どこの住所の人たちが入院しているのか。平和町病院になっているならば、それは金沢市としてお金をかけるのはどうかという議論もあり得る話である。そういった分析資料も次回出して欲しい。</p>
D委員	<p>病院は地域性だと思っている。私は海側に住んでいるが、何かあると県立中央病院に行く。これは自然の流れである。</p> <p>市立病院であるからには公共性が重要であり、事業運営は採算性だけではないと思っている。</p>

G委員	市民の方が市立病院のことを考えることはとても大事なことで、次回もいろいろなご意見をいただきたい。
B委員	市立病院に対する市民アンケートなどは行ったことはあるのか。
市立病院事務局長	患者アンケートは実施したことがあるが、市民アンケートはない。
G委員	入院患者の住所は重要である。結核について、少なくとも金沢の市立病院がなぜ県内全域から受け入れているのか。その辺りを次回までに調べて欲しい。